

通級教室だより

令和5年 11, 12 月号

だんだんと朝夕の冷え込みが増している一方、日中は半袖で過ごせるほどの暖かさです。秋の深まりを感じられる季節になりました。季節がら体調を崩しやすい時季ですが、お子さんの体調はいかがですか。通級教室では引き続き、お子さんの心やからだの状態に合わせて、安心した生活を送れるよう、皆さんと一緒にサポートしていきたいと思えます。

先日の懇談会には、多くの保護者の方に参加していただきました。ありがとうございました。以下にアンケートの一部を紹介させていただきます。

中学校やその先の実体験を基にお話していただけて、とても勉強になりました。最後のエジソンのお母さんの話は涙でした。子どもにとって、一番の理解者でいようと改めて思いました。

まだ中学校生活についてのイメージがあまりできていなかったのですが、とても勉強になりました。困りごとがでてきたときに、誰に相談すればよいのかを教えていただけてよかったです。

中学校進学や高校・大学・就職への話を聞くことができ、参考になりました。その内容を知ると、将来への不安も感じてしまいましたが、様々な情報を知ることが大切だと分かりました。

11・12月の予定

- 11/21 (火) 午後通級お休み
- 11/24 (金) 一日通級お休み (東小代休)
- 12/15 (金) 一日通級お休み
- 12/21 (木) 冬休み前 通級授業終了日
- 1/9 (火) 冬休み明け 通級授業開始日
- 1/11 (木) 一日お休み

<お願い>

通級教室では、毎年保護者の皆さんに「通級指導についてのアンケート」にお答えいただき、指導の参考にすると共に実践報告を行っています。

11月末から12月初旬にアンケート用紙を渡しますので、ご協力お願い致します。

▼▼▼すべての対応の基本「ベーシック5」▼▼▼

発達障害の子に接するときには大切なのは、「安心感を与えること」です。

①見つめる

子どもが自分の方を見てきたら、大人は目を合わせて見つめ返してあげましょう。ただし、「子どもが見てきたとき」だけで十分です。

低学年の子がなぜ大人を見つめるのかというと、それは安心感がほしいからです。



②微笑む

大人は、いつでもこやかに子どもに接してあげましょう。子どもがこちらを見てきたときには、とくに「笑み」が大事になります。

ポイントは歯を見せて笑うことです。人間の脳は、歯を見せて笑うことで「笑み」を認知できます。

③話しかける

この「話しかける」はとても大切です。朝起きたら、すぐに話しかけてあげてください。

とくに教師に絶対やってほしいのは、「月曜日の朝一番に話しかけること」です。朝出会ったらすぐ、「おはよう」「昨日、どこ行った?」と声をかけ、子どもが答えたら「そうかそうか」と反応してあげてください。そうすると子どもが安心します。

④触れる

子どもが望ましい行動をしていて、その行動をもっと強化したいときは、たくさん触れるようにしてください。

タッピングと呼ばれる方法があります。ポン、と肩を軽くタッチしてあげてください。ポポーンと、素早く2回タッチするのもいいでしょう。とくにADHD傾向がある子には、刺激が強い「2回タッチ」の方が、こちらの気持ちがしっかりと伝わるようです。

ただし、頭をなでるのはNGです。発達障害の子は、頭を上からなでられると圧迫感を覚えます。触れたり、なでたりするときは必ず手を横から差し出すようにしましょう。

⑤ほめる

大声で「すごいっ!」と声を上げるのも「ほめる」だし、小声で、「すご〜い」とつぶやくように言うのも「ほめる」です。

いろんなほめ方があって、強弱を使い分けることで子どもの脳に与えられる刺激も変わります。また、ほめるときには、同時に必ず、身につけてほしい「望ましい行動」や「スキル」を子どもに伝えなければ、十分な支援になりません。